



門真四中だより

「つながる」「わかる」「切り拓く」

令和4(2022)年11月18日

第48号

編集・発行：校長 上甲 尚

期末テストまで4日、ラストスパート頑張れ!



一週間前



六日前



五日前



四日前



三日前



二日前



一日前



テスト当日

来週の火曜日(22日)から3日間、期末テストがあります。今回は9教科ありますので、時間をかけて計画的に勉強しないとイケません。明日。あさっての連休は、家でしっかりテスト勉強しましょう。スマホ、ゲーム、マンガ、SNSは少しの間我慢しましょう。

さて、テスト勉強は順調ですか?くれぐれも左のイラストのようにならないようにしてください。何度も言いますが、勉強は将来の自分の可能性を広げ、豊かな、より良い人生を歩むためにするものだ、私は思っています。人によっていろんな考え方がありますが、大人になったらほとんどの人が「勉強は大切だ」と言います。それは自

分自身の反省、後悔も込めてではないかと思えます。

コツコツ勉強することによって「わからなかったことがわかるようになる喜び」「新しい知識を得て、自分が成長する喜び」を味わうことができます。そんな体験を積み重ねることで、人は大きく成長していきます。スポーツでも、地道に練習を積み重ねることで、できなかったプレーが少しずつ上達してできるようになったり、足が速くなったり、体力がついたりします。「小さな積み重ね」が大切なのです。結局、それしか道はありません。あきらめずに、コツコツ頑張りましょう!

「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」(イチロー)

「千里の道も一歩から」(老子・中国の思想家)

相田みつをさん(故人・書家)の作品に「一生勉強 一生青春」という言葉があります。生前、相田さんはこう語っておられたそうです。

年をとって困ることは身体が固くなるばかりでなく、頭が固くなること、心が固くなることです。心が固くなると、感動、感激がなくなります。一生青春を保つためには、心の柔らかさを保つこと。そのためには、具体的に何かに打ち込んでいくことだと思います。

人間、いくつになっても勉強です。皆さんには、「学び続ける人」であってほしいと思います。私もそうありたいです。さあ、「自己ベスト」めざして頑張ろう!

ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる



日本に観光にやってくる外国人の方がよく感心し、口をそろえて言うことがあります。それは、ゴミがほとんど落ちていなくて街がきれいだということです。これは日本が誇れる文化だと思います。

しかし、一部にマナーが悪い人もいます。タバコの吸い殻を道端に平気でポイ捨てる大人、コンビニの前でたむろして食い散らかし、そのままゴミを放置していく若者...。見ていてこれほど不愉快なことはありません。そのゴミは誰が拾っているのでしょうか。

鍵山秀三郎さんという方がおられます。イエローハットというカー用品会社の元社長さんで、「日本を美しくする会」というNPOの相談役を務めておられます。鍵山さんは社長時代、毎朝早く出社し、会社とその周辺を徹底的に掃除するという取り組みを何十年も続けてこられました。当初は、ほとんどの社員が「社長がそんなことをして...」と小馬鹿にしていたそうです。社長の鍵山さんが集めたゴミの上を平気でまたいでいく社員までいたそうです。

しかし、誰に何を言われようと、鍵山さんは黙々と「掃除」を続けられました。その姿を見て、一緒に掃除をする社員が出てきました。すると、不思議なことに会社の業績も徐々に伸びていき、大きな会社になりました。今では、全社員で会社内や周辺を徹底的に掃除することが習慣になったとのこと。鍵山さんの言葉を紹介します。

○「ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる」私の思いを込めた言葉です。大切なことは、一步を踏み出す勇気。一步を踏み出さなければ、前に進むことができません。具体的には、足元のゴミを拾う実践から始めることです。ゴミを拾う人は、不思議とゴミを捨てないものです。足元のゴミひとつ拾えぬほどの人間に、何ができましょうか。

○一つや二つ拾ったってしょうがないじゃないか、という考えではなく、一つでも二つでも拾えばそれだけ世の中がきれいになる。そういう考えです。

○汚いものを汚いままにしておいたら、もっと心がすさむ。

○帰ったら靴を揃える。自分のものだけではなしに家族のものも揃える。よそへ行っても揃えることです。

○人間は義務でやらなくてもいいことがどれだけできるかということが、人格に比例していると思います。

地域清掃を行います(11/25、14:00~)

先週の「四中だより」でもお知らせし、昨日の「生徒会だより」にも書いてありましたが、期末テスト最終日(11月25日)の放課後(午後2時開始)、知的障がいのある方が通所されている施設「仲間の家 たけのこ」の方と一緒に「地域清掃」(ゴミ拾い)をします。

参加してくれる人は、生徒会執行部の人か執行部担当の先生、または担任の先生まで申し出て下さい。一緒に地域をきれいにしませんか!